



第702号



岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会
 住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号
 電話／019(654)4411
 FAX／019(654)4420
 URL／<http://iwatemoriren.org>

新年のごあいさつ

岩手県森林組合連合会

代表理事会長

中崎和久



中崎和久氏

新年を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会の業務運営につきまして、特段のご指導ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、我々森林組合系統が取組んでいる森林組合系統運動の推進にあたり、組合員をはじめ岩手県、関係機関並びに林業関係団体の皆様方に格別なるご協力頂いており心から感謝申し上げます。

近年、全国各地で台風や集中豪雨等による山腹崩壊、土砂流出や河川の氾濫など自然災害が頻発している中、昨年は台風19号等の大雨により東日本を中心に甚大な災害が発生しました。

本県林業関係においては、沿岸地域を

中心に林地崩壊、治山・林道施設被害等全体で被害額約50億円という大きな災害に見舞われました。大型台風の発生要因として、地球温暖化が大きく影響していると言われており、水資源の涵養、山地災害防止等森林の持つ公益的機能を継続發揮させていくためにも、造林・間伐を始めとする森林の整備、治山・林道施設の基盤整備など、適切な森林の整備及び維持・管理が極めて重要であることを再認識したところであります。

この災害により犠牲になられた方々に対し哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、昨年は令和の新たな時代を迎え、森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムがスタートし、また、地球温暖化対策としての森林整備等の財源となる森林環境譲与税が各自治体に配分開始されるなど、森林・林業界にとって、まさに大きな節目の一年となりました。今年からこれらの新たな制度の運用が

本格化すると思われませんが、地域の森林管理を担う我々森林組合系統の役割は大きく、市町村との連携を更に強固なものにし、系統あげて積極的な事業展開を図って参る所存であります。

一方、本県の森林資源は本格的な利用期を迎え、「伐って、使って、植えて、育てる」という形の循環利用を推進している中、林業従事者の減少と高齢化が進み、特に造林や下刈り等の育林関連事業の従事者の減少が著しく、再造林を進めていく上で大きな障害と成りかねない深刻な状況にあります。

県が運営する「いわて林業アカデミー」や「緑の雇用」研修等により若年労働力の確保・育成が図られているものの、慢性的な労働力不足が続いており、森林・林業界にとって担い手の育成・確保対策の促進が最重要課題であります。

このような中、林野庁は森林組合経営基盤の強化を図るため、森林組合法改正の検討を進めており、今年の通常国会に提出する予定であります。改正の具体的内容は、連合会や森林組合間での事業連携等を法的に可能にすることで、森林整備や木材販売事業の拡大、広域化を促進することにあります。川下の加工産業が大型化する中で、森林組合系統では協同の理念のもと、これまで以上に森林所有者への利益還元を進めていくことを大前提として、木材の安定供給を図って行くための系統内連携を強化し、必要

に応じて県域を越えた広域的な連携も視野に入れて検討を進めているところであります。

また、県においては昨年施行された「岩手県産木材等利用促進条例」の制定に基づき、具体的な木材利用促進行動計画を策定し2月県議会に提案する予定

と聞いております。

今後、林業関係者のみならず行政、森林所有者及び県民等が連携・協力し、県産材の幅広い活用が図られていくものと大いに期待されるところであります。

本会では、今年度を初年度とする第Ⅱ期中期経営計画(令和2年度～6年度)

年頭のごあいさつ

岩手県農林水産部長

上 田 幹 也



上田幹也氏

昨年の台風第19号により、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた全ての皆様にお見舞い申し上げます。

台風第19号災害では、沿岸部を中心とした記録的な大雨に伴い、林地荒廃や林道被害を中心に約50億円の林業被害が発生したところであります。

県では、関係機関と連携を図りながら、国の災害復旧事業などを活用した荒廃林地や林道施設等の復旧に取り組んでおります。

さて、東日本大震災津波から間もなく9年目を迎えるようとしております。

これまで、被災した県内8地区の治山防潮堤等の復旧工事は全て完成し、防潮林は、復旧が必要な18地区のうち13地

を策定し、本会及び森林組合の経営安定化に向け、①木材販売事業の拡大、②組織体制の強化③財務管理・業務改善の3項目を重点事項として、組合員をはじめ地域社会に信頼される組織づくりに取り組んで行くこととしております。皆様方におかれましては、引き続き森林組

合系統活動へのご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年を迎え、皆様方のより一層のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

原子力発電所事故による放射性物質の影響を受けている原木しいたけ(露地栽培)については、国から出荷制限指しを受けている13市町全てでその一部が解除され、これまでに、生産再開を望む生産者の約7割にあたる205名の生産者の生産が再開されました。さらに、原木しいたけの需要拡大に向け、県内外のイベント等において、風評被害の払拭や消費拡大に繋がる様々な取組を展開しております。

林業・木材産業の振興については、3期目を迎えた「いわて林業アカデミー」において、林業現場の中心となって活躍できる技術者の養成に取り組むほか、「岩手県意欲と能力のある林業経営体」の認定や、伐木技術指導員など地域林業を支える人材の育成にも取り組んでいるところであります。

また、県産木材等の需要拡大に向け、木材利用の促進を通じて、森林がもたら

す多くの恩恵をよりよい形で次の世代に引き継ぐため、昨年4月1日に施行された「岩手県産木材等利用促進条例」に基づき、「岩手県産木材等利用促進基本計画」の策定を進めているほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村施設整備への県産木材の提供や、市町村等に木造建築設計や木材調達に係る助言を行う木造建築アドバイザーを新設するなど、県産木材等の利用促進や需要拡大に向けた取組を進めているところであります。

さらに、全国植樹祭については、昨年8月に、国土緑化推進機構理事会で令和4年の本県開催が決定し、11月には、開催会場が陸前高田市の「高田松原津波復興祈念公園」に決定したところであります。引き続き、関係者の皆様と連携しながら、開催に向けた準備を進めていきます。

さて、昨年、国では、バリ協定の枠組みの下における我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や、災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国民一人一

新しい年を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から、本県の森林・林業、木材産業の振興施策の推進に対し、深い御理解と格別の御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

人が等しく負担を分かち合つて我が国の森林を支える仕組みとする森林環境税及び森林環境譲与税を創設しました。森林環境譲与税は、各市町村等が地域の実情に応じて、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備を促進するための財源となるもので、「森林経営管理制度」の導入に合わせて、令和元年度から譲与が開始されています。

本州一の森林資源を有する本県では、「いわて県民計画(2019〜2028)」に掲げた、「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標に、林業分野では、岩手が持つ多様な豊かさやつながりなどに着目しながら、本県の豊富な森林資源を循環的かつ最大限に活用できる林業・木材産業を目指すこととしており、津波により被災した防潮林の再生の推進や、原木しいたけの産地再生に向けて取り組むとともに、多

面的機能が發揮できる健全な森林を育成するため、意欲と能力のある林業経営体の育成、収益力の高い産地づくり、高付加価値化・販路の拡大などに取り組んでいきます。

具体的には、次のように施策を推進していきます。

1 市町村における森林経営管理制度の円滑な運用を支援するとともに、意欲と能力のある林業経営体による森林資源の適切な管理を促進するため、林業の集約化等による林業生産活動の効率化や、経営力向上に向けた取組を支援します。

また、「いわて林業アカデミー」により、林業への就業を希望する若者に対し、森林・林業の知識や技術の体系的な習得を支援するほか、関係機関と連携し、現場技術者の段階的なキャリアアップを支援します。

2 林業の収益性の向上と、森林資源の循環利用を進めるため、「岩手県森林再生機構」と連携し、再造林の促進に

取り組むとともに、森林施業の集約化と林道等の整備を進め、路網と高性能林業機械の組み合わせによる木材生産の低コスト化を促進します。

また、GIS(地理情報システム)やICT(情報通信技術)等の先端技術を活用した「スマート林業」の取組を進めます。

3 県産木材等の幅広い利用を積極的に進めるため、岩手県県産木材等利用促進条例の基本理念等を踏まえ、公共施設や民間商業施設、住宅等への県産木材等の利用促進に向け、品質・性能の確かな県産製材品の安定供給体制の整備、県産木材を活用した優良施設

のPR、木造建築に携わる技術者の育成等の取組を進めます。

4 多様な公益的機能を有する森林環境を保全し、良好な状態で次の世代に引き継ぐため、「いわての森林づくり県民税」を活用し、引き続き、公益上重要で緊急に手入れの必要な森林の整備を実施していきます。

松くい虫被害やナラ枯れ被害等に対応するため、被害先端地域での徹底駆除や、樹種転換などによる健全な森林づくりを促進するとともに、県民生活の安全・安心を確保するため、保安林や治山施設を計画的に整備していきます。

川上から川下まで、すそ野の広い産業である林業・木材産業は、本県の多様な豊かな森林資源を背景に大きな発展の可能性を有しており、地域の活性化に欠くことのできない産業であります。

このため、関係機関、団体と密接に連携を図りながら、時代の変化に的確に対応し、「伐つて、使つて、植えて、育てる」といった持続可能な林業・木材産業を実践していくことが何よりも重要ですので、今後とも皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が本県の林業・木材産業に携わる皆様にとりまして、更なる飛躍の年となりますことを心から御祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

新年のごあいさつ

農林中央金庫仙台支店

支店長

徳 永 雄 亮

新年明けましておめでとうございませう。森林組合系統の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、私も農林中央金庫の業務につきまして、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で豪雨災害や山林災

害に見舞われ、特に、台風十九号は、岩手県内各地で浸水被害や山林災害等の甚大な被害をもたらし、今もなお、復旧活動に取り組みされていると伺っております。被害に遭われた皆様方におかれましては、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。



徳永雄亮氏

また、二〇二〇年一月で東日本大震災から八年十か月余りが経過いたします。被災地では、台風被害等が重なる中、三陸縦貫道路の整備・三陸鉄道リアス線の開通(台風十九号被害により、一部運休区間あり)など、インフラ施設の整備が着実に進められております。

これらには、森林組合系統の皆様のご尽力が大いにあったものと認識しておりますが、引き続き本格的な地域の復興・産業の再生に向けた取組みに、皆様のご活躍を期待申し上げます。

さて、昨年の国内経済を振り返りますと、アメリカやEU諸国に対する輸出の

減少や消費者物価の上昇テンポの鈍化など、一部で弱さが残るものの、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。当面の国内経済についても、通商問題をめぐる緊張や中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済への影響や、消費税率上げ後の消費者マインドの動向等に留意する必要があります。あるものの、引続きの雇用・所得環境の改善や、経済の好循環の進展による、緩やかな回復が続くことが見込まれています。

森林・林業を取り巻く環境につきましては、昨年、森林環境税が創設され、森林環境譲与税の市町村への譲与が開始されるとともに、「森林経営管理制度」が施行され、森林資源の適切な管理・林業の成長産業化を推進するべく、市町村や民間事業体に対して大きな期待が寄せられています。

また、国産材利用拡大に向けては、「二

〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の選手村ビレッジプラザにおいて、全国の自治体から提供された木材を使用することが決定し、開催が近づくにつれ、各地より順次納材されており、岩手県においても、昨年十月以降、当該施設向けに出荷していると伺っており、岩手県産材の利用拡大に尽力されている皆様に、敬意を表する次第です。

森林組合系統におかれましては、組合員への貢献はもとより、森林経営計画の策定や、計画に基づく施業の実践、安定的な木材生産、これらを通じた山村社会における雇用・活力創造の担い手として、幅広い面での期待が高まっております。組合員や地域社会、ひいては国民生活にとつてなくてはならない森林組合であり続けるべく、一層ご活躍いただきますことをご期待申し上げます。

私も農林中央金庫といたしましても、昨年よりスタートした新たな中期経営計画において、「農林中金森林再生基

営につぎまして特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、相次ぐ台風の襲来や多発した集中豪雨など、自然の猛威に晒された一年となりました。

残念ながら多くの尊い命が犠牲となり、住み慣れた生活基盤や我が国の柱となる生産基盤に甚大な被害が発生し、今なお、復旧・復興の途上にあります。

金」および「林業労働安全性対策事業」を継続させていただく運びとなりました。また、森林経営管理制度への対応としては、全国各地の森林組合系統・行政にご協力いただき、情報収集を進め、全国の共通課題、優良事例等を把握し、森林組合系統と連携のうえ、参考事例の情報提供・課題解決サポート等により微力ながらサポートさせていただきたいと考えております。

岩手県においては、岩手県、岩手県森林組合連合会、農林中央金庫の三者連携により、森林組合系統の皆様の実施態勢・持続可能な経営基盤の強化に向けたお取組みを支援させていただくとともに、林業の更なる発展のために、全力を尽くして参る所存でございます。

最後になりますが、岩手県内の森林組合系統の益々のご発展と、皆様の一層のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。関係各位の復旧・復興へのご尽力に敬意を表します。

森林組合系統といたしても、一致協力して復旧・復興に取り組むとともに、事前防災、減災に向けての緑の国土強靱化を強く推し進めていかなければなら

新年のご挨拶

全国森林組合連合会

代表理事会長

村松 二郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、全国森林組合連合会の業務運

岩手県森林組合連合会 1月上旬市況

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(㎡当たり)

樹種	長級 (m)	径級 (cm)	標準価格 (1㎡当たり)	今後の動向
スギ	4.00	10~16	8,500	↑
	3.65	18~28	12,000	→
	3.65	30上	11,000	→
	3.65	40上	12,000	→
	3.00	14~18	11,500	↑
	2.00	18上	6,800	→
アカマツ	4.00	18~22	11,000	↑
	4.00	24~28	11,500	↑
	4.00	30上	11,500	↑
	4.00	40上	12,000	↑
	3.00	18~28	11,200	↑
	3.00	30上	10,000	↑
	2.20	40上	12,000	↑
	2.00	18上	7,500	→
	カラマツ	4.00	14下	12,000
4.00	16~28	16,000	↑	
4.00	30上	16,500	↑	



村松 二郎氏

いと考えております。

さて、昨年は令和の新たな御代を迎えましたが、森林・林業界にとりましても、永年の悲願であった森林環境税が創設され、森林環境譲与税が各自治体に初配分となり、森林経営管理制度の運用がスタートするなど、まさに新時代といえる大きな節目の一年となりました。

こうした中、森林組合系統では、森林所有者への意向調査や、意欲と能力ある林業経営者への登録など、森林経営管理制度への対応を進めてきたところです。一方、林道等の路網整備は未だ遅れており、林業生産基盤を早急に整えていく必要がある他、境界不明や所有者不明森林の増加に対し、ICT技術の活用も含めた林業イノベーションを進め、林地情報の活用や施業の集約化・効率化を図っていかねければなりません。

そして、森林組合系統は、健全な森林を未来にどう残していくのかという課題と責任を負っており、伐って、使って、植えて、育てるといふ林業の健全な循環を通じて、SDGsの目標である持続可能な社会の実現に貢献していくことが求められます。

また、森林組合経営基盤の強化に向けた制度改正の検討が進められており、地域の森林管理主体である我々森林組合系統が、組合員森林所有者の負託に応える協同組合として、事業連携強化や経営安定化に向け積極的な取り組みを進めていくためにも、系統の在り方を模索し、将来像を確立していかなければなりません。

また、平成二十八年度から取組を開始した系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」については最終年度を迎えるところであり、効率化や基盤整備、販売・供給体制の構築、労働安全やコンプライアンスなどの所要の目的達成に邁進するとともに、次期運動方針の策定を進めてまいります。

最後に、森林組合系統活動への引き続きのご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様お一方お一方にとって、幸多き素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

伐採跡

新年明けましておめでとございます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も引き続き、「こだま」のご愛読のほどよろしくお願いいたします。
(小向)

全体的に保合い

スギは、昨年12月に大きな動きがなく保合い。県外では、合板が不足している情報もあるので強含みになると思われる。高齢級の役物は強保合い。カラマツは、依然強保合い。土木用の小径木は人気があり引合いが強い。アカマツは、フロア用2m無節材の注文が入り高い。シーズンで特殊材、一般材共に強保合い。合板材も順調に動いている。

盛岡木材流通センターでは、広葉樹が多く入荷。全体的に強保合い。特にナラ、シナ、サクラは昨年同様に引合いがある。鬼グルミ、クリの長材は強気配。沢グルミの白い木は昨シーズンより高い。

＜上段…特選材 下段…一般材＞ (㎡当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級(m)	径級(cm)	12月17日	12月2日	12月25日	12月23日	12月4日	12月3日	12月16日	12月29日	開催せず	12月28日
スギ	2.00	18cm上	6,800	-	6,900	-	-	7,300	6,800	7,000	-	7,000
	3.00	14~18	-	-	-	12,700	-	-	10,500	-	-	11,200
	3.65	18~28	-	11,100	10,500	12,300	-	-	-	11,600	-	12,000
	3.65 4.00	30cm上	32,000 11,000	10,000	11,000	11,700	12,000	-	-	10,850	-	10,500
	4.00	10~16	7,500	8,500	8,050	7,550	9,000	7,650	7,800	7,800	-	8,800
落札数量	4,518㎡		1,065	245	319	320	86	800	128	499	0	1,056
アカマツ	2.20	36cm上	66,000 13,000	-	10,000	-	-	-	12,600	-	-	-
	3.00	14~28	11,000	11,200	10,300	-	-	-	11,000	-	-	11,600
	4.00	18~28	11,500	11,800	-	-	-	-	11,000	-	-	11,700
	4.00	30cm上	56,000 14,000	12,300	11,200	15,900	-	-	25,000 12,000	-	-	11,200
落札数量	1,148㎡		636	20	4	1	36	49	290	49	0	63
カラマツ	4.00	7~13	11,000	-	12,100	11,300	-	-	-	11,500	-	11,000
	4.00	14~28	17,000	15,500	17,000	16,300	15,800	17,100	17,000	17,200	-	16,650
落札数量	740㎡		39	8	130	61	146	88	62	176	0	30
出荷数量	10,606㎡		4,785	441	469	416	376	1,169	883	733	0	1,334
落札数量	9,280㎡		3,800	404	468	385	276	1,150	794	731	0	1,272
平均落札率	87%		79%	92%	100%	93%	73%	98%	90%	100%	-	95%
延べ参加者	278名		95	34	17	16	7	25	35	16	0	33

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外にも含みます。

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ	
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	18上	14~18	18~28	30上	10~16	36上	14~28	18~28	30上	7~13	14~28
強気配		○	○			○	○	○	○	○	○
保合い	○			○	○						
弱気配											

造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること